



作ってみよう！ファミリeルール

使用するインターネット機器を書きましよう：

の使用についての宣言書

使い方や時間などのルール

- わたしは、毎日 時 分以降は、機器を保護者に預けます。
- わたしは、毎日 分間しか使わず、それ以降は機器を保護者に預けます。
- いつでも保護者が内容を確認できるようにします。
-



コミュニケーションのルール

- わたしは、たとえ冗談でも、人の悪口や人が気を悪くするような事柄をネットで発信しません。
- わたしは、自分や友だちの個人情報（写真を含む）を、ネットに登録したり公開したりしません。
- わたしは、知らない人からのメッセージや、正確かどうか分からないメッセージを転送しません。
- わたしはネットで、知らない人とコミュニケーションをとりません。
- わたしはネットで知り合った人に、自分の連絡先等を教えません。
- わたしはネットで知り合った人と、実際に会うことはしません。
-



サイトのアクセスやアプリ、料金などのルール

- わたしは、見たいサイトがあったら、見る前に保護者と相談します。
- わたしは、有料無料に関わらず使いたいアプリがあったら、ダウンロードする前に保護者と相談します。
-

もし守れなかったら……

-
-
-
-



守れているかな？○×をつけよう！

1週間後	2週間後		

宣言した日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

わたしの署名： _____

保護者の署名： _____

東京都がお勧めするファミリーeルールづくり 3つのコツ

① 小さく具体的に守りやすいルール

ルールを作る際は「夜8時以降は、ケータイを親に渡します。」など、小さく具体的に守りやすいルールを作成してみましょう。

② 子供自身にルールを宣言させましょう

ルールを作成する際は、親が一方的に子供に押し付けるのではなく、親子の共通理解のもとに子供自身にルールを宣言させることが大切です。ルールを守る意識は自分で宣言するからこそ意味があります。親は子供の宣言をしっかり見守るようにしてください。

子供自らルールを宣言することが難しい年齢のお子さんの場合、親がいくつかルールを設定してあげてその中から選べるようにすると良いでしょう。

③ ルールを二重構造にしておきましょう

ルールを宣言すると同時に、もし子供が宣言したルールが守れなかった場合のルール（メタルール）も決めておきましょう。これは罰則ではなく、約束を破ったときに自ら責任を取るためのものです。メタルールは必ず守らせましょう。ルール作りを二重構造にすることで、家庭のルールの効果がぐんとあがるはずです。

ファミリーeルールホームページ
<http://www.e-rule.jp/>

ファミリーeルール 公式Twitter アカウント
@tokyo_erule



PTA 会員の皆様へ



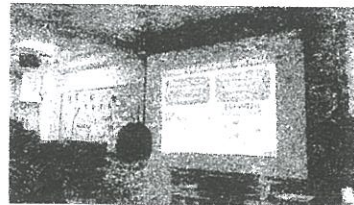
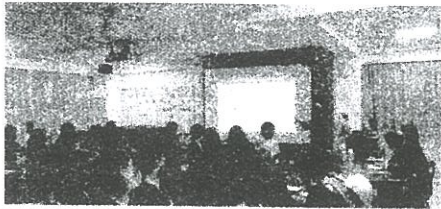
平成 28 年 12 月 15 日

世田谷区立玉堤小学校
PTA 会長 関岡 光
文化厚生委員会家庭教育学級 牛山 和絵

平成 28 年度第 3 回家庭教育学級講演会 報告書

第 3 回家庭教育学級は、12 月 1 日に、東京都青少年・治安対策本部内 こころの東京革命協会 山本啓史様をお招きし、「ネットやケータイの利用に関する講座～子どもをトラブルから守るための家庭でのルール作り〔ファミリールール〕～」と題してランチルームで講演会を開催しました。当日は 30 名ほどの保護者の方々が参加してくださいました。

最新のネット事情、様々な SNS 無料アプリの存在、気軽にアップした写真に付随するデータの危険性、パスワード等で制限をかけているはずが様々な抜け穴があること等、日々進化し続けるネットやケータイの最新事情やトラブルの事例を分かりやすく解説いただきました。



・ネット事情の一例として、国内外の有名大学の講座や資料も自宅に居ながらにしてスマホやパソコンで 24 時間 365 日、無料で観覧できるシステムもあり、学ぼうと思えばいつでも学べる便利で有意義な環境があるのだが、中高生はこういった優れたネットのサービスよりも SNS 等のサービスを認知し利用しているのが現状であるということ。

・安全のために持たせているはずのケータイが悲しい気持ちや危険な目に合わせてしまう場合もあり、その様々な犯罪内容は子どもの人生に深い傷を与える内容も多く“人生勉強”と言うにはあまりにも深すぎる傷になる場合もあり、そういった危うさもあるのだと親が認識する必要があること。

・犯罪者から被害児童生徒側へのアクセス方法の半数以上が「掲示板」を利用しており、ネットで知り合った見ず知らずの人に会うことに抵抗のない子どももいること。接続方法としては、ケータイやパソコンだけではなく、音楽携帯プレーヤーやゲーム機からもネットにアクセスできるため、各メーカー等が行っている子どもを守るための対策や制限を利用し、子どものネット使用を親がコントロールすることも大切であること。

・最近子ども同士のトラブルだけではなく、保護者間でのトラブルも増えており、子どものトラブルを防ぐには、まずは大人がマナーを守り子どもの手本とならなければならないこと。

そして、使い方を親子で考える 2 つの視点として①被害者にならない使い方②加害者にならない使い方を親子共通理解のもとに各家庭でルールを作成する大切さについてお話くださいました。

今回の講座で初めて聞いた SNS サービスもあり、日々進化しているネット世界と巧妙化する犯罪に驚き、子どもに使用させる前と、既に使用している端末に対しても保護者として責任と確認が必要なのだと感じました。

＜講演後のアンケート集計結果＞

話の内容は理解できましたか？

1 よくわかった	89.7%
2 わかった	6.9%
3 あまりわからなかった	0.0%
4 まったくわからなかった	0.0%

お子さんが携帯等を初めて持ったのはいつですか？

1 小学入学前	3.4%
2 小学1～3年生	10.3%
3 小学4年生	10.3%
4 小学5年生	3.4%
5 小学6年生	0.0%
6 中学1年	0.0%
7 中学2年生	0.0%
8 中学3年生	3.4%
9 高校1年以上	0.0%
10 持っていない	65.5%

インターネットで何かトラブルがありましたか？

1 トラブルはない・分からない	92.9%
2 悪口など嫌なメッセージを書かれた	0.0%
3 仲間はずれにされた	0.0%
4 個人情報をおせられた	0.0%
5 知らない人からメッセージがきた	3.6%
6 架空請求や偽サイト	0.0%
7 その他	0.0%

～文化厚生委員 家庭教育学級より～

平成28年度 文化厚生家庭教育学級では『にこにこ！子どもの時間！！』のスローガンのもと、第1回「給食試食会」、第2回「おこづかいが子どもの人生を変える～未来を担う子どもたちのために～」、第3回「ネットやケータイの利用に関する講座～子どもをトラブルから守るための家庭でのルール作り〔ファミリールール〕～」を実施して参りました。知っているようで知らないこと、理解しているようでしていないことも多く、子どもだけでなく大人と一緒に学ぶことが子どもの成長や安全につながるのだと3回の家庭学級を終えて改めて感じました。皆様のご協力、ありがとうございました。